



「TOKYOサイエンスフェア 研究発表会へ参加！」



11月28日(日)12:00～、東京ビッグサイト国際会議場において、東京都教育委員会主催「TOKYOサイエンスフェア 研究発表会」が行われ、本校2年生女子2名がポスター発表に参加しました。研究要旨は以下の通りです。

研究テーマ	アリの好む餌と集まるアリの種類	分野	生物
<p>要旨</p> 	<p>成瀬高校のある成瀬地区は多様な環境を有する。そこで私たちは昨年度、成瀬地区の様々な環境において地表性のアリを採集し、生息するアリの分布を調べた。調査の結果、21種類のアリが確認できた。今回は、どのような餌にどのような種類のアリが集まるのかということ进行调查した。まず、成瀬高校の敷地内で10種類の餌を設置し、特にどの餌にアリが集まるのか調査を行った。その結果をもとに、成瀬高校周辺の2つの公園で特定の3種類の餌をそれぞれ設置し、各アリの嗜好性を確認した。</p>		



この研究は、昨年度1年次「総合的な探究の時間」での「アリプロジェクト」での研究を発展させ、今年度も継続してきたものです。2年生になり、個人で自由にテーマを設定できる「マイプロジェクト」においても、2名は引き続きアリを題材に研究を進めてきました。東京都立大学の江口克之准教授のご指導もいただきながら、夏休みを中心に調査を行い、研究の成果を発表することができました。

参加生徒の感想：2年 小林萌々香

私はもともと生物に興味があったので、昨年のアリPJTから引き続き今年もアリについての探究を行いました。今回の探究で大変だったのは、昨年より人手が少なく、実験や作業がなかなか進まなかったことです。特に、採集したアリの分類や種の特定にとっても時間がかかりました。昨年同様に、小さなアリを1匹ずつ実体顕微鏡を使って見分けることは本当に難しかったです。発表したポスターは、何度も書き直し、自分たちの伝えたいことが読む人に分かりやすく伝わるよう努めました。今年には実際にTokyoサイエンスフェアの会場に行き、たくさんの方がポスターを読んでくれている姿を見てとても嬉しかったです。また、他校のポスターや発表はどれもレベルが高くて感動しました。このようなたくさんの貴重な経験を経て、自分のやりたいことを今まで一生懸命やってきて良かったと思いました。

参加生徒の感想：2年 後藤 彩那

私たちは、『調査方法によって採集できるアリは違うのか』というテーマで探究を行いました。「総合的な探究の時間」は、週に1回しかありませんが、1番自分を成長させてくれる科目だと思います。思うような結果がでなかったり、内容を考え直したり、納得のいく完成形に辿り着くまでに沢山の時間と時間がかかりました。その中で、私は部活や勉強との両立がとても大変でした。しかし、それを乗り越えた今だからこそ感じることのできる達成感や、Tokyoサイエンスフェアでの感動を経験することができました。色々な方からのサポートを忘れず、将来にこの経験を生かします。

それぞれが部活動に所属する生徒のため、夏休みを始め、始業前や昼休み、放課後等にうまく時間を見つけ、研究を進めていました。その結果Tokyoサイエンスフェアで大勢の観客に読んでいただけるポスターを仕上げることができました。当日は、他校の英語プレゼン発表等も目の当たりにし、より一層研究に対するモチベーションを高めていたようでした。この研究成果を基に、二人は3年で論文作成に挑戦していきます。

